

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都世田谷区上馬
園名	フロンティアキッズ上馬

1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界

<テーマの設定理由>

世界とは何か、世界にはどのような人が住んでいるのか、どんな食べ物があるのか、どんな服を着ているか、どのような文字があるのか等、世界の異文化の学習を通じ、自分たちの生活とは異なる文化に興味をもち、豊かな世界観をもつきっかけにするため。

2. 活動スケジュール

9月18日(木) ニュージーランドの幼稚園とのオンラインでのコミュニケーション
10月22日(水) ケニアの幼稚園とのオンラインでのコミュニケーション
10月30日(木) オーストラリア&ニュージーランドの幼稚園とのオンラインでのコミュニケーション
11月6日(木) シンガポールの幼稚園とのオンラインでのコミュニケーション
2月25日(水) インドの幼稚園とのオンラインでのコミュニケーション

触れ合いを予定している国の文化(踊り、建造物、有名な動物、食べ物等)を学んだり、とある国の給食を実際に作って食べてみたり、各国の絵本を読んだり、実際に海外の保育園・幼稚園のお友達とオンラインでお話する機会を設ける。

日本とどのように違うか、また同じところがあるか等を考えながら、こどもたちと世界観を広げる様々な探究活動をおこなう。

また異文化への興味の土台として日常的に実際に外国人講師と触れ合う機会を設ける。週に一回、外国人教師との触れ合いの時間を設け、外国語の手遊びやグリーティングなどに親しむ。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

各回において、保育室に国旗の図鑑や地球儀、世界の文化を紹介する書籍を用意し、子どもたちが活動の中で自由に触れられるように準備をおこなった。
また、オンラインでの触れ合いを予定している国については、映像教材等も用いて、文化や踊りなどに触れ、楽しんだ。

オンラインの触れ合いでは、双方の時計を見せ合って時差について興味を持ち、どうしてその現象が発生するのかという疑問にまで到達することができた。

また、それぞれの国の文化や違いに気づくことはもちろんだが、同じこともたくさんあることにも気づくことができ、話す言語が異なっても、みんな同じなのだという発言も聞かれた。

外国人教師との触れ合いの中では、日ごろから親しんでいる英語の手遊びや挨拶に親しむことはもちろんだが、上記のオンラインでのふれあいで気づいたことを伝えようと頑張る姿があった。

年間の活動を通じ、それぞれが一番興味を持った国やテーマについて調べ、年度末に発表をおこなった。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日々、地球儀や図鑑などで国名などを調べたり、互いにクイズを出し合ったりしている様子があったが、その中でも敢えて伝えていなくても時期によって「ウクライナ」「ロシア」「イスラエル」「レバノン」など、今現在紛争や戦争の起きている国の名前が子どもから出てくることがあった。おそらく報道などでのキーワードが耳に入ったのだと推測するが、いかに子どもたちが自分たちの周りの環境から、柔軟に吸収していることがとてもよくわかった姿だった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都世田谷区上馬
園名	フロンティアキッズ上馬

1. 活動のテーマ

<テーマ>

畑

<テーマの設定理由>

今まで年間を通じて畑での栽培に取り組むことにより、植物の成長する様子の観察や、自分たちで育てたものを食べることの楽しさを経験してきた。今年度はその発展として、稲を脱穀したり、稲わらで飾りを作ったりなど、余すところなく使うことを経験している。その発展として、生産農家での経験を通じ、更に子どもたちの興味関心を深めるため。

2. 活動スケジュール

畑での栽培や収穫を通じてその感触などに興味を持ち、「どうやってできるのか」「なぜ失敗したのか」などの疑問を問いとして設定するまたひとつの作物から様々な食材になっていく様子に気づく。

農家さんとの触れ合いなどを計画し、その作物の情報について知る機会を設ける。関りの中で学んだことを自分たちで実践し、ひとつの作物が複数の食材になっていく様子を観察し、その変化を探求する。

・活動予定スケジュール

9月2日(火) 畑体験1回目

11月13日(木) 畑体験2回目

1月20日(火) 畑体験3回目

それぞれの畑体験で発見したり感じたりしたことを、共有する。

育てた作物から、様々な食材になることをクッキング活動を通じて経験する。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

3回の畑体験を通じて、作物の育つ様子を種まきから観察できるように配慮した。実地での体験以外にも食物の図鑑や食べ物の変化の絵本などを室内に用意し、常に探求できるように準備をおこなった。

実際の畑の様子を思い出しながら、図鑑を眺めたり、絵に描いてみる様子があった。また、次に畑を訪問する日が近づくと、どのようになっているかを想像し、子どもたち同士で会話をしていた。

裸足で土を踏んだその感触や、大根を冷たい水で洗った後の焚火の暖かさなど、作物の成長以外の部分でも感じる事が多くあり、「あったかくてうれしい!」「つめたいのが大事(大根にとって)」などという声も聞こえた



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

単純に野菜の成長～収穫の側面だけで気づくことだけでなく、五感で感じること(歯がざらざらしている、焚火が暖かい、濡れた土においの違いなど)への気づきが多くあったことが、とても印象的だった。

ひとつの側面だけでなく様々なことを感じられるように、保育者もよりアンテナを張っていく必要性を感じた。